

産業廃棄物処理業

# 経営塾

令和8年度(第22期生)募集要項

自分の使命に、  
夢と誇りを。

Pride, Dream, Mission



公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団

# 開塾のごあいさつ

産業廃棄物処理業経営塾  
塾長  
岡山大学・公立鳥取環境大学  
名誉教授

## 田中 勝



2024年12月に日本原水爆被害者団体協議会(被団協)がノーベル平和賞を受賞しましたが、2025年12月には大阪大学の坂口志文氏が生理学・医学賞を、京都大学の北川進氏が化学賞と日本人二人がノーベル賞を受賞するという明るいニュースがあり私たちを勇気づけてくれました。

一方、2022年2月にロシアがウクライナに軍事侵攻し、4年続いた戦闘状態は未だ終わりそうにありません。武力攻撃で人が殺され大量の戦争廃棄物が発生している状況が続いています。一日も早く地球に平和が訪れ、多くの資源が無駄に使われたり、破壊されることの無い社会を取り戻そうではありませんか。

2004年から開塾した経営塾では産業廃棄物処理業界に『社会の潮流を読み、将来の実行可能な事業企画案を書き、企業の競争力を高める成長戦略』という「読み、書き、そろばん」が出来る人材を育てることが出来ればと願っています。「読む」という意味には、日本語や外国語を読めるということもありますが、人の気持ちを読む力も重要です。次に「書く」ですが、企業の将来ビジョンを描き、それを達成するシナリオを「書く」ことが経営者にとっては重要です。

「そろばん」は、無駄をなくして経営効率を高めるために何を選択するかを判断する能力です。そのためには調査や解析が必要で、できるだけ科学的根拠に基づいた判断をする必要があります。また経済的な側面だけでなく、社会の信頼を確保するための判断ができることがますます重要になってきたと思われます。このように企業人として人間力を兼ね備えた「読み、書き、そろばん」の能力を高めていただきたいと思います。

国連は持続可能な開発目標SDGsを掲げて、世界の国々や企業、個人に取り組みを求めています。皆の努力で世界は平和な社会、豊かな社会になるでしょう。その結果、世界の人口は増加し経済成長とともに人々の購買力は向上し、社会でより多くのモノが生産・消費され廃棄物の増加が見込まれます。廃棄物工学研究所の推計予測では世界の廃棄物排出量は2025年には170億トン、2050年には320億トン/年となります。廃棄物処理業界により、これらが回収され、リサイクル、焼却処理等中間処理や最終処分がされます。一方、限られた資源や環境容量を持っている地球の存続のために、私たちの豊かな生活を維持しながら資源を大切に、環境を大切に社会、すなわち循環経済社会の構築が求められており、それには廃棄物分野の高い技術やノウハウを生かした戦略的なマネジメントが求められています。

廃棄物処理業界におられる皆さんは、世界が求めている循環経済社会の構築に貢献することができるのです。このように重要な廃棄物処理業界で活躍できることを誇り(Pride)に思い、欧米の企業に負けない一流の企業に持続的に成長することを夢(Dream)見て、また廃棄物処理は私たちの責任でやり遂げるという使命感(Mission)を持ってもらいたいと思います。この誇り、夢、使命感のPDMを大切にしてください。PDMを常に心に抱けるように経営塾で学んで欲しいと思います。

## 産業廃棄物処理業経営塾について

### 塾長

岡山大学・  
公立鳥取環境大学  
名誉教授

### 田中 勝

### 副塾長

(公社)全国産業資源循環連合会 専務理事

### 室石 泰弘

(一社)日本経済団体連合会 環境エネルギー本部長

### 池田 三知子

(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事

### 岩田 元一

### 事務局

名称 公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団

設立 平成4年12月3日 財団法人産業廃棄物処理事業振興財団  
平成24年4月1日 公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団  
(公益財団法人移行認定)

指定 産業廃棄物の処理に係る特定施設の整備の促進に関する法律第16条に基づく厚生大臣指定法人(平成4年12月24日:厚生省収生衛第1073号)、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第13条の12に基づく産業廃棄物適正処理推進センターとしての厚生大臣指定法人(平成10年7月1日:厚生省収生衛第879号)

## 「産業廃棄物処理業経営塾」に入塾すると…

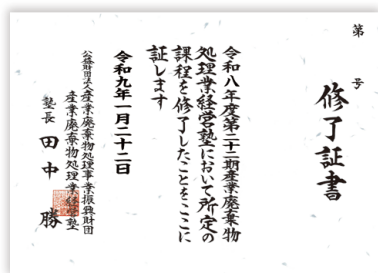
### 1 各分野の専門家による実践的なカリキュラムを提供 第22期日程及びカリキュラム

開催日	時間	カリキュラム	単位		
6/11 (木)	開塾式 12:30~	開塾式			
	1限目 13:30~15:30	産業廃棄物処理事業概論	2		
	2限目 15:50~17:10	産業廃棄物処理業①	2		
6/26 (金)	1限目 10:30~11:50	経営者に期待すること①	2		
	2限目 12:50~14:50	コンプライアンス①	2		
	3限目 15:20~17:30	意見交換会他			
7/9 (木) 10 (金)	9日 10:30 集合 10日 17:00 解散	夏季合宿研修	8		
8/27 (木)	1限目 10:30~11:50	労働安全・人材活用①	2		
	2限目 12:50~14:10	産業界・排出事業者①	2		
	3限目 14:40~16:00	産業廃棄物技術①	2		
8/28 (金)	1限目 10:30~11:50	コンプライアンス②	2		
	2限目 12:50~14:10	産業廃棄物技術②	2		
	3限目 14:40~16:40	産業廃棄物にかかる法制度・行政①	2		
9/10 (木)	1限目 10:30~11:50	財務・金融①	2		
	2限目 12:50~14:10	産業廃棄物技術③	2		
	3限目 14:40~16:00	労働安全・人材活用②	2		
9/11 (金)	1限目 10:30~11:50	コンプライアンス③	2		
	2限目 12:50~14:10	財務・金融②	2		
	3限目 14:40~16:00	財務・金融③	2		
10/8 (木)	1限目 10:30~11:50	産業界・排出事業者②	2		
	2限目 12:50~14:10	財務・金融④	2		
	3限目 14:40~16:00	産業廃棄物にかかる法制度・行政②	2		
10/22 (木) 23 (金)	22日 12:00 集合 23日 17:30 解散	秋季合宿研修	8		
11/12 (木)	1限目 10:30~11:50	財務・金融⑤	2		
	2限目 12:50~14:10	産業廃棄物技術④	2		
	3限目 14:40~16:00	産業廃棄物にかかる法制度・行政③	2		
11/13 (金)	9:00~17:30	施設見学(城南島東京スーパーエコタウン)	6		
12/10 (木)	10:30~16:20	DX・GX / ブランディング(選択制)	6		
12/11 (金)	1限目 10:30~11:50	労働安全・人材活用③	2		
	2限目 12:50~14:10	産業界・排出事業者③	2		
	3限目 14:40~16:00	経営者に期待すること②	2		
		卒塾レポート提出(必須)		卒塾面談(必須)	合計
令和9年	13:30~14:50	産業廃棄物処理業③			78
1/22 (金)	15:30~16:45	卒塾式 / 懇親会			

### 2 「修了証書」を授与

卒業生には「産業廃棄物処理業経営塾」修了証書を授与いたします。この修了証書が優良な経営責任者として評価され、施設建設や事業運営に際しての信用力としても活用されています。

また、その信用力を担保するため、入塾資格を審査すると共に、個別に卒業面談を行い、卒業生の資質を高めるよう配慮しています。



\*修了証書は見本です。

### 3 「経営塾OB会 ホームページ」による 塾生同士の交流活性化 ならびに ネットワークの強化

希望者は卒業後に経営塾OB会に入会できます。OB会ホームページでは、以下の内容で情報発信を行っています。

- OB会に関する最新情報、OB会員向けのニュースや関連情報を適宜掲載
- OB会が主催するイベント情報の告知ならびに出欠申込
- OB会全体・部会・各ブロックの活動報告
- OB会参加企業のインタビュー記事を掲載



\*都合により、カリキュラムの日程入れ替えや講師を変更する場合がございます。  
\*卒業に必要な単位数: 66単位以上

カリキュラム  
6/11  
6/26  
7/9  
7/10  
8/27  
8/28  
9/10  
9/11  
10/8  
10/22  
10/23  
11/12  
11/13  
12/10  
12/11  
1/22

# 16.11

木

開塾式  
12:30~

1 限目  
13:30~15:30

2 限目  
15:50~17:10



1  
限目

## 講義 産業廃棄物処理事業概論

最初の講義として、当財団の事業並びに経営塾の講義概要、産業廃棄物処理業の展開状況や制度・国際的な動向を鳥瞰すると共に、産業廃棄物処理の経営などの今日の潮流を講義。

講師 田中 勝 塾長／岡山大学・公立鳥取環境大学 名誉教授

64年京都大学卒業、70年米国ノースウェスタン大学大学院修了。70年米国ミシガン州立ウェインステイト大学助教授、76年厚生省国立公衆衛生院廃棄物工学部長、岡山大学教授、公立鳥取環境大学教授、(公財)廃棄物・3R研究財団理事長を歴任。環境省中央環境審議会・廃棄物・リサイクル部会長、東京都廃棄物審議会会長、廃棄物学会会長等を務めた。07年に設立した(株)廃棄物工学研究所・代表取締役研究所長、88年に発足した有害・医療廃棄物研究会会長を務めている。



講師 池田 三知子 副塾長

(一社)日本経済団体連合会 環境エネルギー本部長  
東京都生まれ。東京大学経済学部卒業。90年(社)経済団体連合会事務局入局。入局後、税・財政、企業会計、行政改革、農業政策、都市・住宅政策、環境問題、資源・エネルギー問題、CSR・社会貢献、雇用・労働政策等を担当。15年4月より環境エネルギー本部長、20年4月労働政策本部長、21年4月SDGs本部長を経て、24年6月から現職。



講師 岩田 元一 副塾長

(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事

79年~14年環境庁／環境省(地下水・土壌環境室長、大気環境課長等)。この間、千葉県、水産庁、公害等調整委員会事務局、国立環境研究所、環境再生保全機構、日本環境安全事業(株)、インドネシア国環境管理庁(JICA専門家)等に出向・派遣。14年6月~19年6月(公財)廃棄物・3R研究財団。19年6月から現職。



2  
限目

## 講義 産業廃棄物処理業 ①

### 産業廃棄物処理業者の自発的な行動を促す「環境デザイン」

評論家ではなく、プロフェッショナルとしての捉え方を講義。

講師 中野 宇喬 (株)東伸サービス 代表取締役

65年愛知県生まれ。大学卒業後、アパレル輸入業に従事。90年(株)東伸サービス入社、07年代表取締役就任。業界活動として、I.P.G(Industrial waste Professional Group)「産業廃棄物専門家集団」を01年に立ち上げ(現在13社加盟)、17年から会長就任。(一社)愛知県産業資源循環協会副会長。

# 6.26

金

1 限目

10:30~11:50

2 限目

12:50~14:50

3 限目

15:20~17:30



1

限目

講義 経営者に期待すること ①

## 産業資源循環の課題と方向

産業廃棄物処理業が、処理の「受け手」から資源・エネルギーの「創り手」へ変貌する中、業界においては、人材の育成・確保、労働災害の防止、脱炭素化の推進、災害廃棄物処理への貢献など課題が多い。課題解決に向けて業界の振興の方向を講義。

講師 室石 泰弘 副塾長／(公社)全国産業資源循環連合会 専務理事

62年金沢市生まれ。86年厚生省環境整備課入省。補佐時代10年間廃棄物分野に在籍、ダイオキシン対策室長、地球温暖化対策課長等を経て、東日本大震災以降は福島復興に携わり、16年環境省大臣官房審議官、18年福島地方環境事務所長、21年環境再生資源循環局長。22年10月から現職。

2

限目

講義 コンプライアンス ①

## 事例に学ぶ廃棄物管理【グループ討議】

講師 長岡 文明 BUN環境課題研修事務所 主宰

元山形県職員。環境省環境調査研修所講師、日本産業廃棄物処理振興センター講習会テキスト編集委員、栃木県環境審議会専門委員を務める。著書に、「土日で入門、廃棄物処理法」、「廃棄物処理法問題集」、「対話で学ぶ、廃棄物処理法」などがある。

3

限目

講義 意見交換会他

# 7.9 10

木

金

### 夏季合宿研修【ホテル プラザオーサカ(大阪)】

9日

10:30集合

10日

17:00解散

① 塾生企業の紹介 ② グループ討議(テーマ別)

# 8.27

木

1 限目

10:30~11:50

2 限目

12:50~14:10

3 限目

14:40~16:00



1

限目

講義 労働安全・人材活用 ①

## 労働安全についての概要

前段で、産廃処理業に関する労働安全の注意点と、他業種での事故事例を中心に労災事故防止について。後段で、近年とみに増加している社員の精神衛生とハラスメントについての管理と対処法について講義。

講師 市川 博昭 社会保険労務士法人 人事サポートセンター 代表社員

青山学院大学法学部卒業。90年都市銀行入行。98年JASDAQ総合商社 総務部転職。00年社会保険労務士合格、翌年開業。07年特定社会保険労務士登録。16年当法人代表、現在に至る。

カリキュラム

6/11

6/26

7/9 10

8/27

8/28

9/10

9/11

10/8

10/22 23

11/12

11/13

12/10

12/11

1/22

受講集要項



2

講義 産業界・排出事業者 ①

限目

## プラスチック資源循環の最新動向 — 動静脈連携の課題・挑戦 —

国内外のプラスチック資源循環に関する法規制動向、資源循環のための課題と挑戦、マテリアルリサイクルとケミカルリサイクルの最新技術動向、廃プラスチック共通スペックの必要性、今後の課題と動静脈連携で取り組むべきポイントについて講義。

講師

平島 亘 住友化学(株) 炭素資源循環事業化推進室 主席部員 技術企画チームリーダー

97年住友化学(株)入社。プラ合成用触媒の研究開発に18年間従事。サウジアラビアの石化工場立ち上げに4年間滞在。19年より東京本社勤務。マテリアルリサイクルおよびリサイクルブランド立ち上げのプロジェクト主導。23年より現職。プラを分解するケミカルリサイクルおよびバイオマス由来ポリマーの事業化プロジェクトに主導。



3

講義 産業廃棄物処理技術 ①

限目

## 産業廃棄物処理技術<最終処分>

最新の最終処分技術とその動向、最終処分の視点から処理事業経営者として踏まえておくべき事項を講義。

●「廃止」できる最終処分場を前提とした施設建設と維持管理 ●埋立ごみの質の変化に対応した管理技術(塩類、アルカリ問題) ●埋立再生と資源化 ●浸出水管理(PFAS対策、CO<sub>2</sub>削減策等これからの浸出水処理) ●最終処分から見た廃棄物管理の在り方

講師

樋口 壮太郎 福岡大学 名誉教授

72年福岡大学工学部土木工学科卒業。同年日本技術開発(株)入社。97年九州大学大学院博士後期課程修了。01年福岡大学工学部教授着任。02年より19年まで同大学大学院工学研究科資源循環・環境工学専攻、地域環境専修教授兼任、資源循環・環境制御システム研究所所長。現在、名誉教授、審議会等委員多数歴任。著書に「Municipal Solid Waste Landfill Technology in Japan」(Springer)、「最終処分技術」(環境技術支援ネットワーク)、「浸出水処理技術ハンドブック」(環境産業新聞社)、「最終処分場の計画と設計」(日報)等多数。

8.28

金

1限目

10:30~11:50

2限目

12:50~14:10

3限目

14:40~16:40



1

講義 コンプライアンス ②

限目

## リスクマネジメント

廃棄物処理業の鍵となる信頼確保のため、契約書及びマニフェストの管理の注意点、他法令を含めたコンプライアンスの課題と対応、顧客及び住民等からのクレームを受けた場合の対応、行政指導、立入検査への対応等のリスク管理について、事例を参考に講義。

講師

佐藤 泉 佐藤泉法律事務所 弁護士

第一東京弁護士会所属。主な業務：環境問題、特に廃棄物処理法及び土壌汚染対策法その他の環境関連法についての、紛争解決及び法律相談。第一東京弁護士会：環境保全対策委員会委員、神奈川県環境審議会委員。



2

講義 産業廃棄物処理技術 ②

限目

## 脱炭素社会・循環経済における産廃処理施設の方向性

環境省が示した「廃棄物・資源循環分野における2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けた中長期シナリオ(案)」について、特に産業廃棄物処理施設に関する事項を読み解きつつ、近年の事例を交えて、脱炭素社会・循環経済における産業廃棄物処理施設の方向性について講義。

講師 田邊 陽介 (株)環境と開発 代表取締役

00年熊本大学理学部物理学科卒業。同年(株)バスコ入社。01年(株)環境と開発入社。07年代表取締役就任。東京・熊本に事業所を有し、産業廃棄物処理施設の設置に係るコンサルティングを中心に事業を展開。事業の可能性調査から配置計画策定、生活環境影響調査、許認可手続きまで一貫して対応している。熊本地震・西日本豪雨などの災害廃棄物処理に係るコンサルティングも行っている。



3

講義 産業廃棄物にかかる法制度・行政 ①

限目

## 地方における廃棄物行政

一層信頼される処理業者を目指して、現場の事例を踏まえたコンプライアンスに関する講義。

講師 是永 剛 長野県 環境部 水大気環境課長

91年長野県職員昇任。県庁、出先機関において産業廃棄物の許認可、監視指導業務を中心に環境行政に携わる。23年長野県環境部水大気環境課で公害行政を担当。出版など：「廃棄物処理法いつ出来た?この制度」(08年日本環境衛生センター共同執筆)、「ここまでわかる!廃棄物処理法問題集」(10年産業環境管理協会共同執筆)。「月刊廃棄物」連載(24年度～)委員など：04年～環境省環境調査研修所「産業廃棄物アカデミー」講師。03～07年環境省「今後の産業廃棄物行政のありかた研究会」委員。14年信州大学非常勤講師。

# 9.10

木

1限目

10:30~11:50

2限目

12:50~14:10

3限目

14:40~16:00



1

講義 財務・金融 ①

限目

## 産業廃棄物処理業者の事業承継・相続

産業廃棄物処理事業者が陥りがちな事業承継及び相続に関する諸問題について、実際に起こった事例を紹介しながら具体的な解決策を講義。自社株対策、銀行取引への対応、オーナー経営者の相続対策、事業承継税制など、産業廃棄物処理業者の事業承継を総合的に取り扱う。

講師 西村 敦正 税理士法人BAMC 代表税理士

04年同法人設立。税理士法人を経営する傍ら、事業経営及び財産管理に関する総合コンサルティング業務を展開。国内3拠点(東京、札幌、名古屋)及び海外(台湾)に事業所を構える。社員数60名(うち税理士6名)、顧問先数は約2,500件。専門分野は相続・事業承継対策であり、これまで携わった相談は3,000件を超えている。また不動産に関する相談にも精通。



2

講義 産業廃棄物処理技術 ③

限目

## 産業廃棄物処理技術<焼却・熱回収>

年々変化する廃棄物の性状に合わせて、その処理においても様々な対応が必要となっている。また単に廃棄物を処理するだけでなく、+αの付加価値が求められる昨今、廃棄物処理施設の計画から運用・維持管理・メンテナンスまでを、プラントメーカーとして培った技術やノウハウをもとに講義。熱(エネルギー)回収プラントとしての役割や地域社会との共生に資する施設運営の在り方等について解説する。

講師 勝井 基明 (株)プランテック 代表取締役

74年大阪市生まれ。96年(株)アーシン入社、廃棄物系コンサルタント業務に従事。01年(株)プランテック入社。工事部門、営業部門を経て、09年取締役総括部長、11年専務取締役、17年から代表取締役就任。24年環境大臣表彰受賞。



3

限目

講義 労働安全・人材活用 ②

不透明な時代に求められる経営のやり方からあり方への転換とは

先行きが不透明なVUCAの時代。経営も「経営のやり方からあり方」が問われる時代になってきている。今回の講義では、現在の時代認識、元法政大学教授の坂本光司先生が主張される「人を大切に作る経営」とそれを経営で実践している企業の数々の事例、更に、産業廃棄物処理業者様の事例などを説明し、自社の経営のあり方について自問自答して頂く。

講師 高原彦二郎 コンサルビューション(株) 代表取締役社長

80年出光興産(株)入社。ロンドン、香港、北京駐在。北京所長、本社海外課長を歴任。海外子会社経営管理、中東脱出等のリスクマネジメントなどを担当。04年独立し、コンサルビューション(株)を設立。代表取締役社長。現在、政府関連の委員、関連著書も多数。事業活動としては、海外関連のみならず、大家族主義を実践した出光佐三(出光興産(株)創業者)氏の経営哲学の勉強会を主催、また、坂本光司先生が主催される人材塾でEMBAを取得し、人を大切に作る経営のあり方についても取り組んでいる。



講義 労働安全・人材活用 ②

人材育成について並びに各種補助金の活用方法について(仮)

廃棄物処理業の未来を切り拓く!補助金活用戦略セミナー

補助金は「ゴール」ではなく、攻めの経営への「手段」である。本講義では、激変する業界で勝ち抜くための「戦略的補助金活用」を徹底解説する。環境省・経産省の最新支援策から、採択率を高める事業計画の書き方まで、専門家が成功の秘訣を伝授。企業の競争力を引き上げる「攻めの経営」へ一歩踏み出そうではないか。

講師 下村博史 しもむら経営研究所 下村博史行政書士事務所 中小企業診断士 行政書士

博士(学術・早稲田大学)、エネルギー管理士、事業承継士。(一社)つむぎすと(事業承継協会東京支部)監事。三井住友銀行・日本総研で24年間コンサルティングに従事。コカ・コーラボトラーズジャパンで経営統合業務に従事。中小企業基盤機構や東京都中小企業振興公社の経営アドバイザーとして、省エネ・事業承継・補助金申請支援で高い実績を誇る。

19.11

金

1限目

10:30~11:50

2限目

12:50~14:10

3限目

14:40~16:00



1

限目

講義 コンプライアンス ③

廃棄物処理法遵守の心得

廃棄物処理法の趣旨、法遵守の必要性、「行政処分の指針」の概要、裁判例を踏まえた欠格要件などを中心に廃棄物処理法を体系的に講義。廃棄物処理業におけるコンプライアンスの重要性を再認識する。

講師 鈴木 道夫 橋元綜合法律事務所 弁護士

87年中央大学法学部法律学科卒業。88年司法試験合格。89年最高裁判所司法研修所司法修習生(第43期)。91年弁護士登録(東京弁護士会)。02年東京弁護士会常議員。12年最高裁判所司法研修所民事弁護教官(~15年)。04年産業廃棄物適正処理推進センター運営協議会委員長(現職)。08年(株)JTB社外監査役(現職)。24年日本弁護士連合会司法修習委員会委員長(~25年)。



**2** 限目 **講義 財務・金融 ②**  
**産業廃棄物処理業者として東証一部上場までの道のり  
 「女性税理士が産廃会社を東証一部に上場させるまで」**

産業廃棄物処理業者として上場を目指し、17年に名証第二部へ上場。3年連続最短で東証第一部へ上場するまで、管理部(財務・経理・総務)管掌役員、代表取締役社長としての内部管理体制の整備や、組織再編を含めた上場に耐えうる組織経営について講義。

**講師 加藤 恵子** (株)ミダックホールディングス 代表取締役社長  
 93年佐藤澄男税理士事務所(現・税理士法人名南経営)入所。01年税理士登録。02年公認会計士・税理士祖父江良雄事務所(現・デロイト トーマツ税理士法人名古屋事務所)入所。06年(株)ミダックホールディングス入社。取締役経理統括部長、16年同社管理部長に就任。17年名古屋証券取引所市場第二部へ株式上場。18年東京証券取引所市場第二部へ上場。19年同社代表取締役社長に就任。東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部に指定。22年東京証券取引所プライム市場、名古屋証券取引所プレミアム市場に移行。



**3** 限目 **講義 財務・金融 ③**  
**産廃業界における基本的な財務  
 — キャッシュフローの視点から考える経営判断 —**

産業廃棄物業界における経営判断の基礎として、キャッシュフローの重要性を講義。B/S・P/Lの基本関係を整理した上で、中間処理業の構造や外部環境の変化を踏まえ、企業が倒産に至る要因と経営者の意思決定の視点を、実例を通じて理解する。

**講師 東 英雄** 合同会社クインコ 代表社員  
 メガバンクに約30年勤務し、業務企画・商品開発等に従事するとともに支店長を3か所で歴任。退職後、産業廃棄物処理業に転じ、役員として経営管理および事業運営に携わる。現在はコンサルタントとして、中小企業の経営支援、財務戦略の立案、業務改善等を行う。金融機関の視点と業界実務の双方を踏まえ、実務に即した経営・財務に関する指導に定評がある。

**10.8 木**

- 1 限目 10:30~11:50
- 2 限目 12:50~14:10
- 3 限目 14:40~16:00



**1** 限目 **講義 産業界・排出事業者 ②**  
**戸田建設の廃棄物管理業務の電子化への取り組み**

戸田建設では、廃棄物管理業務の効率化、コンプライアンス向上のため、マニフェスト、委託契約の電子化を推進している。建設業界において電子契約の普及率が高くない中で一定の成果を上げている、戸田建設の電子契約への取り組みについて講義。

**講師 高橋 昌宏** 戸田建設(株) 本社建築品質環境管理部 環境管理課 課長  
 02年戸田建設(株)東京支店入社。環境管理部にて建築施工部門における廃棄物管理に従事。03年より本社建築環境・品質管理部にて、全社の建築施工部門に係わるISO14001対応、廃棄物管理、土壌汚染対策等の環境管理業務に携わり、現在に至る。12年より日本建設業連合会・環境委員会・建築副産物部会の委員、21年より副副会長を務める。



2  
限目

講義 財務・金融 ④

### 産業廃棄物処理業界におけるM&Aについて

M&Aは企業を成長させるために欠かせない戦略になってきた。今までに産業廃棄物業を中心に赤字企業を含む6社のM&Aを実施し、全てを1年以内に黒字化させた経験を元に、M&Aの基礎からPMI(買収後の事業統合)の重要性まで講義。

講師 尾崎 俊也 アースサポート(株) 代表取締役社長

92年三和銀行(現:三菱UFJ銀行)入行。退職後に米国ロチェスター大学経営大学院でMBAを取得。96年6月にアースサポート(株)に入社し、02年11月社長就任。業界活動では11年7月から2年間、全国産業廃棄物連合会青年部会会長を務め、18年から(一社)しまね産業資源循環協会会長。



3  
限目

講義 産業廃棄物にかかる法制度・行政 ②

### 日本の資源循環経済政策について

近年では、廃棄物問題や気候変動問題に加え、世界的な資源需要と地政学的なリスクの高まりといった資源制約の観点から、サーキュラーエコノミーへの移行が喫緊の課題となっている。本講義では、4月施行の改正資源法を含む、我が国における資源循環経済政策の最新動向についてお伝えする。

講師 三牧 純一郎 経済産業省 GXグループ 資源循環経済課長

東京大学経済学部卒業後、03年経済産業省入省。入省以来、製造産業局繊維課やファッション政策室、内閣総理補佐官秘書官、中小企業庁、資源エネルギー庁、富山県、福島復興推進グループなど、幅広い業務に従事。入省後に米国コロンビア大学へ留学し、MBAを取得。25年7月からはGXグループ資源循環経済課長に着任し、日本のサーキュラーエコノミー政策の推進に取り組む。

10.22 木 23 金 | 秋季合宿研修【クロス・ウェーブ梅田(大阪)】  
22日 12:00集合 | 23日 17:30解散



1

講義 産業廃棄物処理業 ②

### 地方であり地域の専門業者としての役割と取り組み

地元で創業し50年以上続けられる理由や、時代の流れに置いていかれないよう取り組んできた事を講義。

講師 高山 盛司 環境開発(株) 代表取締役社長

68年金沢市生まれ。89年地元建設会社入社。94年内川建設(株)入社、04年代表取締役就任。05年環境開発(株)取締役、11年代表取締役就任。22年石川県産業資源循環協会会長就任。



2

研修 合宿研修

### 中長期ビジョンの策定と経営戦略の立案

規制業界ならではの視点に着目し、経営の重要資源である「ヒト・モノ・カネ・情報」を計画的に扱い、安定した経営を実現させる標準的手順を講義。単なる講義だけでなく、グループでディスカッションを交えながら実践に活用できるよう学習を深めていく。テキストには『中期経営計画の立て方・使い方』を使用する。要事前学習。

講師 中尾 光宏 パスファインダー・コンサルティング 代表

89年北海道拓殖銀行入行。融資・外為等法人業務に従業。97年ゲーム業界に転身。人事・採用・ゲームベンチャー企業創業を経験。上場IT企業CFOを最後に08年独立。創業100年超企業への創業者の事業承継を実施した後、スタートアップ企業経営者の相談役など支援多数。公職では経産省管轄NEDOの事業カタライザーを拝命。同志社大学、塚塚山学院大学、国立明石高専専攻科非常勤講師を歴任。神戸大学大学院経営学研究科修了。

## 1

限目

### 講義 財務・金融 ⑤

## 金融機関から見るサーキュラーエコノミーの動向 および資金調達にあたってのポイント

サーキュラーエコノミー実現には静脈企業、動脈企業、官公庁など様々な関係者の連携が不可欠である中、各関係者とのネットワークを有する金融機関から見た業界動向や連携事例を紹介。また、資金調達にあたり気を付けるべきポイントについても講義。

講師 山田 健晴 (株)みずほ銀行 審査第一部 審査役

02年みずほ銀行入行。法人営業・審査・人事を経て、21年(株)みずほフィナンシャルグループ与信企画部次長。25年4月より現職。

講師 岡本 昂

(株)みずほ銀行 産業調査部

13年東京工業大学大学院物性物理学専攻理学修士修了。通信会社2社、シンクタンク1社を経て、23年1月より現職。資源循環の調査分析などに従事。

講師 川島 拓弥

(株)みずほ銀行 事業成長支援部 部長代理

07年みずほ銀行入行。法人営業を経て、21年10月より法人業務部、25年7月より現職。金融機関としてのサステナビリティへの取り組みに関する企画・推進に従事。

## 2

限目

### 講義 産業廃棄物処理技術 ④

## 産業廃棄物処理技術<破碎・選別>

破碎装置及び選別装置の各機種別の特徴(導入に係る機種選定のポイント)&世界最先端のリサイクル機器について講義。

講師 河上 幸広 (株)リョーシン 取締役 営業部 部長

87年富山県生まれ。10年法政大学経営学部経営戦略学科卒業。17年(株)リョーシン入社。業界が直面する“人手不足”を解決する最適なプラント・装置をお客様へ提案。世界10ヶ国20社の海外メーカーをはじめ、世界最先端の技術を持ち合わせる機器を日々探索。

## 3

限目

### 講義 産業廃棄物にかかる法制度・行政 ③

## 資源循環行政の現状と今後の展望について

我が国の資源循環行政担当部署の責任者から、廃棄物処理法や再資源化事業等高度化法などの関係法令の内容、循環経済および脱炭素社会構築に向けた取り組み等について講義。

講師 相澤 寛史 環境省 環境再生・資源循環局資源循環課長

99年4月、環境庁採用。経済開発協力機構(OECD)環境局、廃棄物リサイクル対策部制度企画室長、地球環境局地球温暖化対策事業室長、環境再生・資源循環局浄化槽推進室長、大臣官房秘書官事務取扱、企画評価・政策プロモーション室長、環境教育推進室長、環境影響審査室長、中間貯蔵・環境安全事業(株)PCB処理事業部長などを経て、25年7月より現職。

## 施設見学

9:00~17:30

施設見学 城南島東京スーパーエコタウン



12.10 木

1 限目

10:30~11:50

2 限目

12:50~14:50

3 限目

15:20~16:20

1

限目

ワークショップ(選択制) DX・GX / ブランディング

取組事例

DX・GX デジタル活用を通じた生産性向上の追求

今後すべての職場で人手不足の加速が確実視される中、デジタル活用を通じた人手不足解消と生産性向上はどの業種においても必須のテーマである。本講義は取組事例を参考に、ITを使った業務変革のグループ討議を行い、具合的なプラン作成・発表を通じてデジタル活用による生産性向上への理解を深める。

講師 青木 卓 三立処理工業(株) 代表取締役

01年から化学系商社でプラスチック法人営業に7年間従事。09年米国デューク大学経営大学院に留学、MBA取得。帰国後、11年から日本マイクロソフト(株)で経営管理・マーケティングに7年間携わる。18年廃プラのリサイクルベンチャーに転職。翌年より子会社の建廃中間処理会社の経営を担当。24年サイクラーズ(株)に転職、M&Aでグループ子会社となった三立処理工業(株)代表と、同じくグループ会社の中核会社東港金属(株)取締役 事業本部本部長を兼務。

ブランディング 資源循環業界が担う社会責任  
~SDGsによるブランディング戦略とは

世界共通のゴールであるSDGsとはなにか。17のゴールの中で産業資源循環業界に期待される役割を担い企業価値を構築していくためには、環境ビジネスとブランディングについて、中小企業である自社の事例を交えて講義。

講師 山口 玉緒 (株)エンタープライズ山要 代表取締役

16年代表取締役就任。大阪府産業資源循環協会 女性部副会長、NPO事業継続推進機構 幹事、防災士、事業継続管理者、職場備蓄管理者、備蓄収納1級プランナー、環境省登録 環境カウンセラー、環境教育インストラクター、SDGsアドバイザー。

2

限目

グループ討議

3

限目

発表

12.11 金

1 限目

10:30~11:50

2 限目

12:50~14:10

3 限目

14:40~16:00

1

限目

講義 労働安全・人材活用 ③

産業廃棄物処理業(当社)における人財育成への取り組み

社会のインフラを支える我々の業界は、収集運搬や処分、そして関連する技術開発や事務管理業務に至るまで、全て「人」がいて成り立っている。「人を育て、人を創り、人で勝負する会社を目指す」という理念のもと、人財育成の取り組みを、当社の事例を交えて講義。

講師 高橋 潤 高俊興業(株) 代表取締役社長

73年生まれ。96年大学経営学部商学科卒業。96年建設会社入社。00年高俊興業(株)入社、15年代表取締役社長就任。現在の社外活動：(一社)廃棄物処理施設技術管理協会副会長、(一社)東京都産業資源循環協会常任理事、建設廃棄物委員長、(公社)全国産業資源循環連合会 業務主任者試験等準備検討委員会委員、人材育成方策調査検討会委員。

**2** 限目 **講義 産業界・排出事業者 ③**  
**NECのサーキュラーエコノミーへの取り組み(仮)**

**講師** 日本電気(株)  
講師・講義内容等、詳細は後日ホームページに掲載。



**3** 限目 **講義 経営者に期待すること ②**  
**Regenerativeな経営を目指して**

サーキュラーエコノミーへのシフトが加速度的に求められる中、競争力を持ったリサイクラーにどう転換していくのか。資源再生・資源供給者として求められる役割は益々重要度を増している。全ての地表資源が循環する社会の実現に向けた、Regenerativeな経営について考える機会としたい。

**講師** 石坂 典子 石坂産業(株) 代表取締役  
92年父が創業した石坂産業に入社。02年社長就任。工場の全天候型化、ISO7種統合導入、海外50カ国の視察受入など改革を実施。隣接する里山を再生した「三富(さんとも)今昔村」で、生物多様性AAA認証や環境省「体験の場の場」認定を受け、環境教育を展開。「Zero Waste Design」をビジョンとし、海と陸を保全する「30by30」への参画や、再エネ100%を導入し、脱炭素にも取り組む。「2020年度 日本経営品質賞」受賞。経産省産業構造審議会臨時委員。資源循環小委員会委員。

**必須** 卒塾レポート提出

**必須** 卒塾面談 ※日程は個別に設定

令和8年 **1.22** 金 | **1限目** 13:30~14:50 | **卒塾式／懇親会** 15:30~16:45



**1** 限目 **講義 産業廃棄物処理業 ③**  
**会社経営と経営塾OB会の役割**

会社経営と経営塾OB会活動を両立することにより、相互で重要なポイントが見えてくる。“たかが会ごと”ではあるが、社内に引きこもっては見えてこない“何か”を皆様に発見して頂くための講義。

**講師** 片瀨 則人 興徳ホールディングス(株) 代表取締役  
81年大阪生まれ。04年東海大学体育学部卒業後、イギリスのバース大学で柔道コーチとして留学。留学中は様々な国に柔道着を持って訪問し、視野を広げる。07年に(株)興徳クリーナーに入社、21年(株)ケーシーエス代表取締役就任。廃棄物物流の課題解決に注力し、廃棄物管理ソフト販売を手がける(株)イー・ガジェットの経営にも携わる。25年9月興徳ホールディングス(株)代表取締役。(公社)大阪府産業資源循環協会でも活動。

**卒塾式／懇親会**



**日程** 令和8年6月～令和9年1月(8ヵ月間)

**講義数** 27講義+合宿研修(2回)+施設見学

**講義時間  
(通常講義)**

1限目 10時30分～11時50分

2限目 12時50分～14時10分

3限目 14時40分～16時00分

## 会場(講義&合宿研修)

### (公財)産業廃棄物処理事業振興財団内 会議室

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-1-18 ヒューリック虎ノ門ビル10階



講義会場



最寄駅：東京メトロ銀座線 虎ノ門駅(9番出口)より徒歩1分  
東京メトロ千代田線・日比谷線・丸ノ内線 霞ヶ関駅より徒歩5分  
都営地下鉄三田線 内幸町駅より徒歩5分  
東京メトロ日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅より徒歩6分  
JR線・都営浅草線 新橋駅(日比谷出口)より徒歩10分



合宿研修

#### 夏季合宿研修

#### ホテル プラザオーサカ

〒532-0025

大阪府大阪市淀川区新北野1-9-15

TEL.06-6303-1000

#### 秋季合宿研修

#### クロス・ウェーブ梅田

〒530-0026

大阪府大阪市北区神山町1-12

TEL.06-6312-3200(代表)



## 産業廃棄物処理業 経営塾OB会

運営  
活動内容

経営塾OB会は自主的かつ独立した運営を行っており、各卒業期の代表からなる幹事会において年間活動計画を立案し、運営しています。

主な活動としては、見学勉強会、全国の卒業生のネットワークを活かして、業界のさらなる発展を目指す地域別ワークショップ活動や、関係省庁・団体への提言等の情報発信を行っています。

主な  
年間行事

- 定時総会
- 見学勉強会
- 地域別ワークショップ活動(年数回)
- 成果発表会・賀詞交歓会
- テーマ別勉強会等

卒業生間の連携とネットワークの強化を主として、  
産業廃棄物処理業の成長・発展のための行政、排出事業者等への提案・情報等を発信しています

## 募集要項

### 応募資格

以下のいずれかに該当する者であること。また、①及び②に該当する者が勤務する企業においては、過去5ヶ年にわたって廃棄物処理法などの法令違反に問われていないこと。

- ① 優良な産業廃棄物処理業者としての評価を得ている企業の経営者または経営の一翼を担っている者。
- ② 優良な産業廃棄物処理業者としての評価を得ている企業の技術面における統括管理者であり、産業廃棄物処理に関する技術資格を有する者。
- ③ 産業廃棄物処理業に準ずる豊富な経験を有し、今後、産業廃棄物処理業に新規参入を検討している企業において、①・②の条件に対応した要件を満たす者。
- ④ その他、本塾生として受講を認める相当の理由があるとして塾長が認めたる者。

### 受講料

**66万円(税込)**

(受講料には、合宿研修費等が含まれています。)

## 申し込み方法

### 提出書類

入塾願書と顔写真2枚(4cm×3cm)

### 応募締切

令和8年**5月18日(月)**まで

定員に達し次第、締め切らせていただきます。

### 選考方法

当財団の審査により選考いたします。

### 支払方法

請求書を送付いたします。

(金額前納とし、納入後は事情によらず原則として返金はいたしません。)

## 入塾までの流れ

### 入塾願書提出

下記書類を事務局までお送りください。

1. 入塾願書
2. 顔写真2枚(4cm×3cm)

1枚は入塾願書に貼り付け、  
1枚は同封してください。

入塾審査結果をご連絡いたします。

### 受講料の支払い

入塾者に請求書を送付いたします。期日までに受講料を指定口座にご入金ください。なお、振込手数料は恐れ入りますが、貴社にてご負担ください。

入塾式の案内を送付いたします。

### お問い合わせ・願書提出先

#### (公財)産業廃棄物処理事業振興財団

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-1-18

ヒューリック虎ノ門ビル10階

TEL.03-4355-0155

事務局／青木・兼子

E-mail : jyuku@sanpainet.or.jp

- 受講に関しては**原則、当財団会議室にて対面で行います。**ただし、やむを得ない場合は、WEB受講も可能です。(WEB受講のツール手段として、Webexを用いて行います。)
- 不明な点につきましては、当財団ホームページをご覧ください。  
URL : <https://www.sanpainet.or.jp/>



**公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-18 ヒューリック虎ノ門ビル10階  
Tel.03(4355)0155

**URL** <https://www.sanpainet.or.jp>